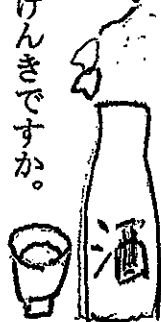


# ゆめサロン

## 便り

令和 4年  
8月30日  
吉賀町ゆめサロン  
No.512

暑いですね。



皆様おげんきですか。今年はずいぶん寒い冬だったのか、私が年取って意欲がなくなつたのか、私がか気がつけば、三月はサロン便りを書いていないのです。三寒四温は老体にこたえます。

コロナ騒ぎで癌など忘れたような気がしていますが、今一度考えなおしてみなければ、と思

います。早く、何も心配ない世の中に帰りたいものです。

桜の蕾も日々開き始めました



### 日本タンポポ



この頃西洋タンポポに押されて日本タンポポが絶滅危惧種だと聞いたことがあるように思いますが私の住む地方はそうでもなくむしろこの頃日本タンポポの方が多くなつたような気がします。ともあれタンポポは整腸剤と聞いたためずつと前から、春になると薄い衣をつけて天ぷらにしていたできます。おなかの調子がとてもいいです。お試しくださいついでによもぎもそえると春の香りが豊かです。

### 歯の治療



お蔭様で三か月に一度は歯医者さんのお世話になっていきます。毎食後の歯磨きをすること、歯医者さんがケアして下さいること

で歯の健康が保たれています。でもそこに来られる患者様がやつと歩ける方もよく見かけることがあり気の毒に思っています。歯医者の方々に感謝です。

### ウオーキング



このところ億劫になつたウオーキングですが、もしかしてどこかで可愛い猫や小鳥に逢えるかもしれないと思い、重い足を鞭打って歩いていきますと茶色のトラキージがお留守らしい家の前を「うにゃあー」と言つて知らん顔で内股で歩いていました。期待した通りです。欲しいなあと思ひながらその猫を横目に家路にいそぎました。うちに二十一年生きた猫のある子に申し訳なくとても近づくと気にはなりませんでしたが、でも次の日、またそこを

通りました。悪いと知りながら会えるのを期待している自分がいまいました。やはりいました。デカい茶きじの猫でした。まるで恋人のようです。

### みちびか



その昔、何時も保育所にお爺ちゃんに連れられてくるきよし君という男の子が居ました。心の優しいきよしくんはいつもお爺ちゃんを待っていました。小さな目に涙をいっぱい貯めて窓の外を見ていました。その様子を折に触れ思い出していた私は大きな発見があつたのです。歩いていたら時小きなお堂がありました。そこにきよし君のお爺ちゃんのお名前があつたのです。そのお堂には二十一番札所と書いてありました。そこに行けばいつかはきよしくんにあえるような気がして足を運ぶ私です。

